

進路ニュース2011

第1号



日に日に暖かさが増し、今年も校庭の桜が満開になりました。まだまだ震災の影響が残るところではありますが、先週からは部活動も始まり、少しずつ学校生活も本来の姿にもどりつつあると思います。3年生にとっては、義務教育が今年度で終わり、社会への一步を踏み出す準備の年となります。**全員の「希望する進路の実現」**をめざし応援していきたいと考えています。今年度も、生徒のみなさん、保護者の皆様方に、進路の情報をお知らせする「**進路ニュース**」をお届けします。進路選択の情報源としてご家庭で活用してください。

自分を知り、夢をかなえる進路選択を

① 自分の適性は

自分は何に興味を持ち、どんな適性(どんな性格)をもっているかを知ることです。自分の適性・能力をしっかりと把握することが大切になります。



② 自分の将来の夢は何か

遠い将来自分のなりたい姿を思い描き、自分の人生を見通すことができれば、毎日の生活にはりあいが出てくることでしょう。はっきりしていない場合でも、例えば、3年後の自分の姿、身近な3年後をイメージして、今の進路選択を検討することがとても大切です。

③ 進路の設計は

自分のしたいことが見えてきたら、それがどこで、どのようにすれば叶うかを調べ、探すことです。このとき大切なことは、進学にしても就職にしても、必ず自分の目と耳と手足と肌で、確かな情報を集め、雰囲気確かめながら探すことです。また、周囲の人の意見も参考にしましょう。

④ 夢をかなえるには

③までできたら、もう一度①にかえて自分を見つめ直し、夢と現実の自分との差を見つめ、具体的な行動で埋めていく努力が必要となります。

進路コーナーをチェック!

今後、各種学校から学校紹介や案内が届いてきます。それらを、みなさんに伝えるため、「**進路コーナー**」を開設します。場所は、**3階東廊下**です。進路を考える上では、まず確かで新鮮な情報が大切です。特に今年度は、震災の影響で例年とは異なることが多いことが予想されます。ぜひ、掲示板を見て情報をチェックする習慣をつけてほしいと思います。

保護者の皆様へ「親子で考える進路選択」

進路の選択は、子どもが初めて直面する厳しい課題です。「進路選択＝高校選択」ではなく、大きな視野から子どもの10年後、20年後の生活を見つめながら、じっくりと考えていきたいものです。親子の意思が通い合っている時、子どもは生き生きと生活できるものです。親の希望を一方的に押しつけるのではなく、子どもの希望や考えを大切に、どんなことでも話し合える家庭の雰囲気づくりをお願いします。

話し合いのポイント

1. 保護者はわが子の個性を生かし、適性や能力を伸ばすことを第一に考えて、希望と期待を込めた話し合いを心がけたい。
2. 保護者は見栄や体裁にこだわらず、上級学校の選択は、わが子が職業人として成長していくためのワンステップと考えて、進路選択の話し合いを進めたい。
3. 保護者は、そこ(高校等)がわが子の力を伸ばす条件を備えているか、教育方針や施設・設備はどうかなど、わが子と一緒に進路研究を進めたい。

